



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

アンテナを高くして情報収集

～良いこと、良くないこと、耳の痛いことも含めて～

“いじめアンケート”“指導に関するアンケート(体罰アンケート)”のご協力、有り難うございました。個々に事実確認をおこない、その後、対応をしています。保護者の皆様にも、聴き取りやその他の協力等、お願いすることも出てきています。

いじめ発見の感度は、以前に比べて、格段に上がっています。

「昔は、こんなこと、日常茶飯事やったばい。」

とか、

「自分も、悪いことしたなあ(後悔、述懐)。」

とか、保護者の皆様や地域の皆様からお聞きすることがあります。その当時は、“いじめ”と認知されなかったことも、今は認知となります。

今後、社会を生き抜く上で、耐性やたくましさに関して、不安を感じるという意見を聴くこともありますが、実際に対応していて、次のようなことを思い、考えております。

不快や苦痛を与えた側から、

「そんな気持ちではなかった。」

とか、

「〇〇されたけん、したとさ。」



とか、聞きます。それは、それで、^{いいぶん}言い分だと思えます。しかしながら、相手はどうだったのかは、聞いてみないとわかりません。今、大事にしているのは、そのことです。相手の感じ方、思い、考えを、まず、しっかり知りたいと思えます。

我々指導者も、同様です。良かれと思ってやっている方法や、とっさに出た言動が、子ども達側や保護者側からみると、とても理不尽だと思われることもあるでしょう。確認が必要です。“指導に関するアンケート(体罰アンケート)”も、大事な情報源となります。

子ども達のために、本気でやっている者同士、率直な意見交換ができる確固とした信頼関係をつくりたいと考えております。

この時期、最適な目標・めあてとは

～『とことんカード』のチャレンジャー、
増えています～



【提案】
この時期、最適な目標・めあて となりそうなこと＝“朝、自分で起きる”



『とことんカード』をもらいに来る人と、達成を報告に来る人が増えています。『とことんカード』とは、日常生活の中で、自分の目標・めあてを決めて、地道にチャレンジしていくためのカードです。校長室で、希望者に配付しています。このカードは、お家の冷蔵庫など、家族みんなが見えるところに貼っておきます。

今年度の学校目標は、“とことん学び続け、とことん学び合う人”です。どんな時に、本気の学びが生まれるのかと考えました。何か、自分の達成したい目標・めあてがあって、その過程で、学びが生まれるのではないのでしょうか。ついつい、学びと言えば、学習、勉強、授業などと直結してしまうのですが、けっしてそれだけではありません。

例えば、この時期、朝、自分で起きるのは、大人であってもつらいです。「朝、自分で起きる。」と言葉（口）で言うのは実に簡単なわけですが、実行するのはなかなか難しいです。これも、学びです。つらさを乗り越えようと、瞬時に気分が変わることがあります。これも学びです。続けることは、難しいです。これも学びです。自分の生活パターン（ルーティーン）が決まると、頭で考えなくとも、自然と動けるようになります。これも学びです。

あいさつも、お手伝いも、家庭学習も、実際にチャレンジしてみると、そこにいろいろな学びが生まれます。結局、授業も同じで、自分の目標・めあてが明確で、そこにチャレンジする意識が出てくれば、学びがありますし、本気であればあるほど、学びが深まります。そんな授業づくりをどうすればできるか、全職員で知恵を出し合っています。

まずは、日常の生活の中で、目標・めあてを決めて、本気でチャレンジすることだと思っています。そこに学びが生まれ、自分の成長、伸び、変容につながります。

実際にやってみて、いろいろな感想交流ができるようになれば、おもしろそうです。子ども達が、『とことんカード』を持ち帰ったら、しっかり見守って下さい。応援して下さい。